

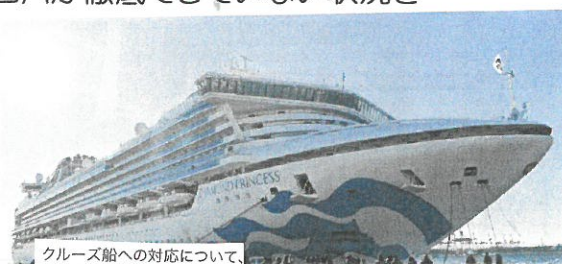
安倍政権は新型コロナウイルス感染症に対しどのように対応したのか？ “後手後手・・・”

中国武漢での新型コロナウイルス感染症が認識され(2019年12月)、日本国内での感染者が確認されたのは1月16日でした。

感染症対策のイロハ

チャーター機を出し武漢から邦人の帰国に努力したまではよかったが、そのひとつひとつの2週間(ウイルスの潜伏期間)の隔離方法は確立しておらず三日月ホテルでの“相部屋”といった対応をしてしまうなど感染症対策のイロハが徹底できていない状況を露呈。

3000人以上乗船しているクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号への対応の悪さは世界各国から批判される結果に。船内で感染が引き起こされ検疫に入った医療関係者まで感染してしまう水際作戦のまずさ・・・というより感染症への対応の仕方・対策の知識も方法も十分に職員(政府)に伝わっていなかったのではと思われ



クルーズ船への対応について、
「乗員の感染拡大防止が十分にできておらず、感染を広げてしまった可能性はある」
船内で感染拡大を完全に防ぐことは難しいと。

れます。感染症対策の専門家岩田氏が指摘したように「ウイルスが存在する危険ゾーン、ウイルスのいない安全ゾーンを分け防護服をつけてしっかりと区別することは感染症関係者の世界での鉄則なのにそれすらできていなかった」状況で2週間船中に隔離されたため下船後クルーズ船中723人も感染者を出していることから完全に対応に失敗であったことが明らかと指摘されています。

PCR検査&診療体制

更に、国民の不安を掻き立ててしまったのがコロナウイルス感染のPCR検査について。政府が作った仕組み“37.5度の熱が4日間続いたら診療を受ける。それまでは自宅で療養してください”という条件に合わない人にはPCR検査を実施しない。“今回のコロナ感染症は発症しない人からも感染する”という情報が出され自分たちが感染しているかどうか検査できないなんて・・・と国民が不安になるのは当然。

韓国のようにスクリーニングのための検査体制を取れなかった、今でも取れていないがゆえに、“今はどのくらいの感染状況なのか”を国民は知ることすら出来ない状態が続いている。これでは不安だけが増してしまいます。

いまだに政府から“今ある医療資源による新型コロナウイルス感染症への対応の仕方”が国民に示されていません。

“発熱外来の診療をする場所をどこにするか？(他の疾患の方の診療とどう区別するか)——新型コロナウイルスに感染した人で軽度の人と重症の人の診療の場を分けて医療資源を区別する。——重症患者が死亡にいたらないように高度の医療を投入する”といった一連のシステムが具体的にとられていない。12月からどうして出来なかったのか？大きな疑問です。“後手後手の安倍政権”です。

然るに韓国では文政権が1月の段階で民間企業に検査キットの開発を要請。開発した医療機器会社はいま月産120万人分の検査キットを作っている。韓国での検査は30万件検査済み。その体制下当局がドライブスルー方式やウォークスルー方式で検

査。病院の屋外のテントで接触しないようにブース別で問診・検査。約 7 分で検体をと
り結果は 6 時間後に分かるとのこと。(ブースは外来者ごとに消毒と換気)

又、病床の使い方も軽症者と重症者とを分けて収容するシステムを実施とのこと
です。

ちなみに千葉県の 3/18 現在新型コロナウイルス感染症に対応できる病床は感染症
指定病院で 58 床、一般病院での個室あるいは減圧の病床は 200 床を確保。又、PCR
検査体制は衛生研で 120 検体、松戸保健所で 20 検体、習志野保健所で 10 検体を、
自治体では千葉市が 32 検体、船橋市 20 検体、柏市 20 検体の検査可能とのこと。
今は専門家会議での検討会や医師への感染症の研修を遣っている段階。残念ながら
パンデミックになったときに対応できる物理的体制ではないので一日も早く「発熱外
来の診療体制・軽症者と重症者をトリアージした診療
体制の具体的プランを作るべきです。

マスク

又、医療関係者用だけでなく一般の“マスク”がま
たく市場から消えてしまっている状況が続いています。
政府は増産を要請しているようだがいっこうに現れ
てこない。台湾や韓国のように何らかの方法をと
って国民にマスクが手に入るようにすべき。でなければ文科大臣が「小中高校の学校で
生徒にマスクをつけて」といっても実施できません。



実施根拠も示せず対策もなく“ばあたちの施策”

そして政府の基本的なスタンスのなさは 2/25 に「基本方針」を出していたのにもか
かわらずその基本方針と違う内容の「イベント自粛要請(2/26)」「小中高校・特別支
援学校の全国一律休校要請(2/27)」を安倍首相の独断で出してくる。

その結果多くの職場ではどう人をやりくりしたらよいか?休みになって収入がな
くなるがどうしたらいいのか?不安だけを増徴しました。雇用されている人には 8330 円
(フリーター4100 円)を企業に助成するといっても国の目が届かない部分で収入がな
くなった人々にはどうするのか?と不安の声。いろいろな事業のストップで突然の雇
い止めの問題も出てきています。

学校が休校なのに教室より密集し、近い間で(密な距離で)の会話があり、密封され
た空間の“学童”はいいですってなんなの?政府のやってることが分からないとの批判
も。一部の自治体では独自に学校を開きました。

そして安倍首相が国民に情報も出さずにただ不安をあおってしまう後手後手の施策
を展開する中で“緊急事態宣言”を安倍首相の判断で宣言できる非常に問題の多い
「新型インフルエンザ等対策特措法」に新型コロナウイルス感染症を加える改正法案を突
如出し成立させてしまいました。国会承認といったチェックもなく安倍首相への白紙委
任です。

新型コロナウイルス感染症についての情報の国民への提供の少なさ、検査体制の
悪さ、感染症対策の仕方を国の中枢の人々が分かっていない中での後手後手の対応
でしかなかった不安の絶頂で「緊急事態宣言の出来る法律」を作り出した安倍政治は
は“ショックドクトリン政治”以外のなにものでもありません。

ふじしろ政夫